

令和元年度

小・中学生フォーラム in 戸塚第一小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月9日（火）、戸塚第一小学校（西早稲田3-10-12、校長：白倉代助）の6年1組28名、2組28名、3組28名が、「地域を幸せにするアイデアを発信しよう」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、各クラスの代表の児童が、それぞれ「ポイ捨てについて」「ペットボトル廃止に向けて」「子どもたちが安心・安全に遊ぶために」のタイトルで、現状の問題点を指摘するとともに、その解決に向けた具体的な対応策について、パソコンで作った資料を使いながら区長への提案として発表しました。その後、区長への質問コーナーでは「緑が少ないことについて何か取組みをしているか」「区長になって大きく変えたことはあるか」などが質問として挙がり、区長から、現在区で実施していることについて丁寧にお話しいただきました。最後に区長から全体の感想として、「身近なところから取組みを始めて、次につなげていくのが大事。どういう形で政策に反映できるか考えてみたい」と話がありました。

児童たちは、発表の際は緊張していたようでしたが、「ポイ捨て禁止のポスターを増やす」「公園の遊具を増やす」という提案に対して区長から「皆さんだったらどんなポスターにしたいか」「どんな遊具があったらいいか」と逆に質問されると、活発に答えていました。児童たちにとって貴重な経験ができる機会となりました。

